

やすらぎ短信

平成31年
2月号

節分



節分というと豆まきをイメージされ
ると思いますが、節分とは、一年に四回
あり、立春・立夏・立秋・立冬の前日の
ことをいいます。旧暦では、立春を一年
のはじまりの大切な日としてきました
ので、二月の節分には、厄災の象徴であ
る鬼に豆を投げて追い払う「追儺（つい
な）」の儀式が行われ、厄災を祓い、無
病息災を祈ってきました。豆（まめ）は
「魔（ま）を滅（め）する」という意味
があり、鬼を払う霊力がある食べ物とさ
れ、撒いた後に芽が出ないように炒った
豆を使用します。また、福豆は歳の数だ
けたべると良いとされてきました。

恵方巻き

恵方とは、その年
の干支にもとづい
て定められた最も
良い方角のこと
で、歳徳神（としと
くじん）がいらっ
しやるといわれており、節分の日にその
方角を向いて無言で「恵方巻き」を食べ
ると万事に吉とされています。ちなみに
今年の恵方は「東北東」です。



厄祓い・節分祭

来る二月二日・三日

は、浦幌神社で節分祭
を斎行し、皆様の厄祓
いや家内安全祈願と豆
まき神事を行います。
豆まき神事では、参列
者に「鬼は外、福は内」



の掛け声で豆をまいて頂き、厄除けと招
福祈願を致します。皆様お揃いでお参り
下さい。尚、厄祓いは年中受付けており

ますが、お早めに受けられると良いでし
よう。厄年表と時間は左記の通りです。

男 性			女 性		
24歳	平成8年生(1996年)	前厄	18歳	平成14年生(2002年)	前厄
25歳	平成7年生(1995年)	本厄	19歳	平成13年生(2001年)	本厄
26歳	平成6年生(1994年)	後厄	20歳	平成12年生(2000年)	後厄
41歳	昭和54年生(1979年)	前厄	32歳	昭和63年生(1988年)	前厄
42歳	昭和53年生(1978年)	本厄	33歳	昭和62年生(1987年)	本厄
43歳	昭和52年生(1977年)	後厄	34歳	昭和61年生(1986年)	後厄
			36歳	昭和59年生(1984年)	前厄
			37歳	昭和58年生(1983年)	本厄
			38歳	昭和57年生(1982年)	後厄
49歳	昭和46年生(1971年)	本厄	49歳	昭和46年生(1971年)	本厄
61歳	昭和34年生(1959年)	還暦	61歳	昭和34年生(1959年)	還暦
70歳	昭和25年生(1950年)	古希	70歳	昭和25年生(1950年)	古希
77歳	昭和18年生(1943年)	喜寿	77歳	昭和18年生(1943年)	喜寿
80歳	昭和15年生(1940年)	傘寿	80歳	昭和15年生(1940年)	傘寿
88歳	昭和7年生(1932年)	米寿	88歳	昭和7年生(1932年)	米寿

◎厄祓い日時

二月二日・三日

午前九時・十時

午後一時・三時・五時・六時

表記以外の時間をご希望される場合
は、予約にてご奉仕致します。

電話〇一五―五七六―二四四八

紀元祭 二月十一日

来る二月十一日、午前九時より、紀元祭を齋行致します。紀元祭とは、神武天皇即位日を国の紀元とし、それを寿ぎ、国家の繁栄を祈念する祭典です。この日は、神武天皇を祀る橿原神宮の例祭日となっておりますが、当社でも、我が国の誕生を皆様でお祝いし、皇室の弥栄をお祈り致します。どなたでもご自由に参列できます。皆様のご参列をお待ち致しております。



古神札焼納祭齋行

来る一月十五日午前九時より、古神札焼納祭(どんど焼き)が齋行されました。当日は天候にも恵まれ、参列者は、焼納の火にあたりながら無病息災を祈りました。毎年恒例の甘酒、お汁粉が婦人部の奉仕により振る舞われ、家族連れの参拝者などで境内が賑わいました。

なお、お人形や写真のお焚き上げは、年中受付けておりますので、ご希望の方は、ご連絡下さい。



空手道少年団寒稽古

来る一月二十日、浦幌町空手道連盟・少年団の子ども達が当社で寒稽古を行いました。当日午前十時三十分より、ご社殿にて安全祈願を行い、その後、外で基本動作と形の演武を行いました。子ども達は、寒さに負けず、気合を入れて元気な技を繰り出しておりました。今年の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

浦幌神社行事予定

- 二月一日 月次祭
- 二月三日 節分祭
- 二月十一日 紀元祭
- 二月十五日 月次祭



発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八